

# 報 情 導 補

令和元年 5月10日発行 上田市少年育成センター(事務局) R1-1号  
上田市天神1-8-1 上田駅前ビルパレオ5F 電話:23-6370 FAX:23-6368

## 会 長 就 任 挨拶

宮下 幸良

皆様こんにちは。4月の理事会にて選出され初代の会長を引き受けさせていただく事になりました。

私自身は2期目の会長ではありますが、組織改革をしての初代会長です。最初に何故改革が必要だったのか、説明をさせていただきます。まず上田市は各自治会より1名の補導委員が選出されており、元々の人数が他市より多い所へ合併した後も同じように選出された事により、240人超えの組織として運営されてきました。当市より人口の多い長野市、松本市をはるかに超えていました。その事により、数年前から組織体制の見直しの話が出ていましたが、なかなか話が進まないまま過ぎていました。

しかし、最近特に子供達の絶対数も少なくなり、又外に出て遊ぶ姿を見る機会も少なく「声かけ」も少なくなったとの事から思い切った改革をする事になり、次年度に先送りする事なく私が在任中にとの事で事務局と打合せをし、当時の副会長、地区会長さんとの会議を数回開催し、2年かけて実現する事ができました。

その間自治会連合会にも説明をし了解をいただき、又事務局である教育委員会内でも検討をしていただきました。大きな改革は人数の削減(60数名の減)そして中学校区からの代表を理事として、27名程いた地区会長会議制度をやめ、少数の理事(15名)で会議及び議決ができるようにしました。

しかし、地区によっては、4班で活動していた所が1班での活動になったりと、今迄と違った班編成となり慣れるまでは時間がかかると思います。

今年度は改革に携わった事務局トップ全員が入替えとなり、当然引継ぎはしっかりできていますが、改革の当事者の一人として責任を感じていましたので、今後2年間皆様と一緒に活動をさせていただき、都合の悪い事があれば、見直しをしていきたいと思っています。

「少年補導委員」の名称については設立当初から「補導」の文字を使用していますが、もともと「補導」とは「親に代わって青少年が不良化しないように指導すること」だそうです。又「指導」とは「直接指示を下したり、説明をする事」となっています。

前回の第1回研修会で「声かけ」の参考ビデオにも

ありましたように、子供達に分かりやすく説明する事は良いのですが、直接指示(指図する)する事はどうなのかと思っています。

私も20数年この役をやっていますが、「声かけ」はなかなか大変な事です。自分自身が緊張する事なく話しかける事を心掛

けています。私自身現在は子供達の通学路の交差点にて毎朝立ち、通過する全員に声掛けをしています。大きな声で挨拶する子や聞こえないような挨拶する子と色々います。又小さい声で私を見ないように行く子がいますが、そんな子にかぎって私が都合で居ない日があると、「おじさん昨日はどうして居なかったの」と声を掛けて来ます。見ないようなふりをしてるが、毎日結構意識しているのだと感心させられました。今後皆様も時間のある方は街頭補導日とは別に、朝又は午後の通学時に声掛けをして見て下さい。結構楽しいかもしれません。仕事で、時間が取れない方は自分の通勤時に地元の子供を見かけたら、車の中からでも良いので挨拶をして見て下さい。全員では無いかもしれませんが挨拶を返してくれる子供達があります。

前回の地区別分散会で、学校の先生(小中学校)からスマホの話がありました。学校では特に持ち込み及び使用禁止となっているが、家では自由に使用できるので、見えない所での出来事については分からないので心配との事でした。

私達補導委員が直接何かできる事は無いのですが、機会があれば自分達もその事を勉強し、啓蒙していければと思います。

以上、雑書きとなりましたが、私の思いの一部を記させていただきました。今後2年間宜しくお願い致します。



# 平成31年度総会開催される

4月18日(木)上田文化会館ホールに於いて、新生上田市少年補導委員会の総会が自治会選出委員104名、学校関係委員35名、計139名の参加を得て行われました。今年度より、組織をコンパクト化し時代に即した補導活動ができる委員会として生まれ変わりました。



総会終了後、各地区で学校との懇談の様子。

総会に先立って開催された理事会新役員が選出され(右頁別表)、活動報告、活動計画が総会に報告されました。総会の後は、研修会が行われ補導委員としての心構えを新たにいたしました。最後は、地区別に分かれ学校との交流、今後の活動の打ち合わせを行いました。



新役員。右より宮下会長、佐藤・武田・細田副会長。

また、総会では永年功労者の34名を代表して5名の方に表彰を行いました。心より感謝申し上げる次第であります。竹内氏より謝辞をいただきました。

## 永年功労者表彰 受賞者を代表して

竹内 延人 (神科)

街頭補導活動などに出るたびに脳裏を過ぎる言葉があります。かつて上田で講演された声かけの達人といわれる夜回り先生、水谷修先生は「出会う少年たちには、明るくあいさつするだけでいいのです。あいさつが少年たちの生きる糧となるのです。」などと話されました。それは、私たち補導委員は「動かなければ何も始まらない」ということにもなります。また、哲学者、森信三先生は「あいさつ三カ条」を唱えました。

- 一つ 相手の人の目を見てあいさつしよう。
- 二つ 相手の人より先にあいさつしよう。
- 三つ はっきり大きな声であいさつしよう。

私の班は、市街地での「街頭補導活動」では、ゴミ袋とゴミ鋏持参で活動していますが、あいさつしながら活動していると、通行する方が「ご苦労さん」と声をかけてくださいます。このところ市街地も清潔感があります。



感謝状受賞者一覧( )内は就任年数		水野 博幸(20)
田中 良男(16)	竹内 延人(16)	一之瀬 裕(12)
北澤 登(8)	瀬間 穂積(8)	春原 正愛(8)
吉原 克幸(8)	谷間 凱一(8)	長谷屋 元(8)
増田 郁子(6)	阿部 泰武(6)	小林 典之(6)
倉沢 道男(6)	宮下 豊彦(6)	佐藤 忠(6)
内山 美佐子(4)	正村 弓江(4)	伴野 誠(4)
佐藤 美紀(4)	伊作 啓子(4)	手塚 一蔵(4)
清水 年秀(4)	清道 義晴(4)	土屋 孝雄(4)
藤田 一友(4)	斉藤 武久(4)	山崎 克成(4)
横尾仁志郎(4)	春原 睦夫(4)	木内 健一(4)
笹沢 房子(4)	斉藤 孝夫(4)	堀内 文夫(4)

(敬称略)

次に、上田市少年補導委員の皆さんなどから出された意見が功を奏し、二つの事例が成立した事例です。ひとつは、20条からなる「長野県子どもを性被害から守るための条例」です。平成25年11月、塩尻市で開催された「長野県青少年育成健全育成大会」では、県政タウンミーティングに阿部知事が出席され白熱した論議が展開されました。上田市少年補導委員の皆さまも含蓄の深い貴重な発言をしてくださいました。もう一つは、平成16年3月25日に施行された14条からなる「上田市暴走族等の根絶の推進に関する条例」です。上田市少年補導委員会では、条例制定に際し、条例を有効に機能させたいという考えから「第一条では『規制する』ということにより、少年の健全な育成と安全で安心な地域社会の実現を図ることを目的にする」よう進言しました。したがって当条例は、いってみれば「青少年健全育成条例」というべきものであり、補導活動の後ろ盾となっているのです。

【令和元年度上田市少年補導委員会新役員】

会 長	宮 下 幸 良	( 豊 殿 )
副 会 長	武 田 正 義	( 緑 が 丘 北 )
	佐 藤 久 二 夫	( 東 前 山 )
	細 田 和 生	( 上 田 五 中 )
理 事	金 子 昌 弘	( 上 堀 )
	足 立 勉	( 下 塩 尻 )
	横 澤 耕 二	( 千 曲 町 )
	小 野 沢 裕 親	( 神 畑 )
	小 宮 山 正 治	( 西 内 )
	高 木 春 男	( 坂 井 )
	武 捨 輝 雄	( 傍 陽 中 組 )
	荒 井 徹	( 鳥 屋 )
	矢 島 翔 太	( さくら 国 際 )
	手 塚 一 蔵	( 神 畑 )
	宮 下 忠 征	( 岩 下 )

事 務 局	
上田市少年育成センター 所長: 竜野 秀一 次長: 中村 文昭 主事: 八木 貴之	丸子地域教育事務所 久保田 敦子
補導委員会 指導主事 大田 一昭	真田地域教育事務所 藤岡 治
育成会 中村 典子	武石地域教育事務所 津久井 剛

H31 信州あいさつ運動



4月11日、県下一斉のあいさつ運動に合わせ、各地区ごとに実施された運動の一部をご紹介します。少年補導委員が学校職員や地域の協力者と一緒に、あいさつを奨励しました。

4/11(水) 7:10-7:45 城下A班

(横澤さん)

「寒い風が吹く朝でした。声がけした児童生徒は小学生110人。集団登校の列に「おはようございます。」と声がけすると元気よく挨拶を返してくれた。すがすがしかった。横断歩道のわたり方を指導しました。」

4/11(水) 7:20-8:10 川辺泉田B班

(小野沢さん・塩崎さん)

「事前に川辺小学校側に連絡を入れたら、当日、上野学校長が声がけに参加していただいた。また、生徒さんも普段から「声かけ運動」を実施しているようで気持ち良い返事がかえってきた。」



仏さまの指

本年度より上田市教育委員会の指導主事になりました大田と申します。少年補導委員会の事務局を担当いたします。よろしくお願いいたします。

さて、私が教師としてまだ若かったころ東京大学の佐藤学先生にご指導していただいたことがあります。蕎麦屋にいく車中で「大田さん、長野県が教育県、大村はま先生のような素晴らしい方がいるからね・・・」「はあー」となま返事。理系の私は、その先生を存じあげず家に帰りあわてて調べました。

大村はま:1906-2005日本を代表する国語教育研究家である。1928年、東京女子大学を卒業後に1937年は長野県立諏訪高等女学校(現・長野県諏訪二葉高等学校)を皮切りに中学や高校の教壇に52年間立ち続けた国語の先生。

すると、こんな文章が心を震わしたのです。奥田という先生と大村はま先生の会話です。

仏さまの指

《あるとき、仏様が道ばたに立っただけでいらっしやう。すると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引



いて通りかかった。しかし、大変なぬかるみにはまってしまい、懸命に引いても車は動かない。汗びっしょりになって男は苦しんでいた。

その様子をしばらく見ていらっしやうた仏様は、ちよつと指でその車におふれになった。その瞬間、車はずつとぬかるみから抜けて、からからと男は引いていった。》

奥田先生は、「こういうのがほんとうの一級の教師なんだ。男はみ仏の指の力にあずかったことを永遠に知らない。自分が努力して、ついに引き得たという自信と喜びとで、その車を引いていったのだ」と語り、大村はまさんは「もしその仏様のお力によってその車がひき抜けたことを男が知ったら、男は仏様にひざまずいて感謝したでしょう。けれども、それでは男の一人で生きていく力、生きぬく力は、何分の一かに減っただろうと思いました」

さて、我々少年補導委員の仕事は地道な社会教育です。どうか青少年を後ろからそつと指で押してやるような活動を展開しましょう。

(指導主事 大田 一昭)

令和元年度		6月～7月		街頭補導計画		少年補導委員会	
日	曜	6月活動班		日	曜	7月活動班	
1	土	東塩田		1	月		
2	日	神川A 東部A		2	火	東塩田	
3	月			3	水	神川A 東部A	
4	火	西部A 丸子中央A		4	木	西部A 丸子中央A	
5	水	中塩田A 長瀬		5	金	中塩田A 神科A	
6	木	神科A 城下A		6	土	長瀬 城下A	
7	金	南部A 別所温泉		7	日	南部A 別所温泉	
8	土	本原 豊殿		8	月		
9	日	北部A 川西A		9	火	本原 豊殿	
10	月			10	水	北部A 川西A	
11	火	少年補導委員会 全体研修会		11	木	◆第44回県補導活動推進大会(佐久市)	
12	水	川辺泉田A 武石		12	金	川辺泉田A 武石	
13	木	中央A 内村		13	土	中央A 内村	
14	金	神科B 東部B		14	日	神科B 東部B 【家庭の日】	
15	土	西部B		15	月		
16	日	中塩田B 【家庭の日】		16	火	西部B	
17	月			17	水	中塩田B	
18	火	神川B 依田		18	木	神川B 依田	
19	水	北部B 西塩田		19	金	北部B	
20	木	南部B 塩尻		20	土	南部B 塩尻 【祇園祭】	
21	金	川辺泉田C		21	日	川辺泉田C	
22	土	城下B		22	月		
23	日	傍陽		23	火	西塩田 城下B	
24	月			24	水	傍陽	
25	火	丸子中央B		25	木	丸子中央B	
26	水	川西B		26	金	川西B	
27	木	長		27	土	長 塩川	
28	金	川辺泉田B 塩川		28	日	【上田わっしょい】	
29	土	中央B		29	月		
30	日	西部C		30	火	中央B 川辺泉田B	
1	月			31	水	西部C	

**《事務局から》**

**【6月・7月の目標】《たまり場、遊び場における青少年の行動、状況をつかもう。》**

◆6月は第1回一日補導をお願いします。(該当地区は以下のとおりです。)

(東部、中央、西部、塩尻、神川、豊殿、中塩田、別所、浦里、丸子中央A、依田、塩川、傍陽、武石)

◆7月は環境チェック活動実施の月です。(全地区で実施して下さい。)

一日補導活動の詳細は、活動ガイド7P、環境チェックは、活動ガイド8Pを参照してください。

▼班長さんへのお願い

・補導活動の報告書は活動後、1週間以内に返信用封筒にて報告をお願いします。

・街頭補導連絡票は、改訂版をご使用下さい。一日補導、環境チェックは協力者の感想も同封願います。